

塩水噴霧試験で長期利用時でも性能劣化なし

高性能デッキシステムで利用実績を増加

ケーワンシステム



K-1デッキ耐震試験。各種試験で性能を証明

り入れ可能な文教Playタイプストロング仕様も開発されている。

2019年には、文教施設やオリンピック施設、大型商業施設で同デッキシステム

の採用が増加。長期使用を想定して、性能が劣化しないように各種試験を行った。同年4月には北海道立総合研究機構工業試験場で、K-1デッキ文教タイプ

の屋外での長期利用を想定し、天然木デッキ、人工木デッキでの設置試験体で500時間、21日間の塩水噴霧試験を実施。K-1

デッキは、万協フロアーの支持脚、ZAM鋼製床下地と人工木、天然木で形成されている。これまで支持脚、ZAM鋼板、デッキ材、接着剤については各部材メーカーで塩水噴霧試験が行われてきたが、組み合わせや加工された試験体

で、より現場の状況に近い試験結果を得るために行われた。その結果、人工木仕様では目視確認の結果、白錆とわずかな赤錆の発生が認められた

試験も行った。原田社長は「当社のK-1デッキは、これまでも耐荷重性能試験や転倒衝突時の硬さ試験などを行い、その性能を証明することで採用を増やしてきた。デッキ材は、外構工事における部材として性能より価格を重視するところもあるが、簡単に取り換えることのできない商業施設ではメンテナンスやランニングコストを考慮し、性能を重視して採用する動きが出てきている。そういった要望に対し、デッキ材と構成するデッキシステムを組み合わせた試験を行うことで、より安心して利用してもらえるようにしている」と語る。

ケーワンシステム

(札幌市、原田慶一社長)は、北海道を中心に二重床の供給と施工を行い、万協フロアーの特約店でもある。同社は高性能デッキシステムの供給で文教、商業施設など様々な場面での採用を増やしてい

る。同社の主力商品は、K-1デッキ文教タイプ。同タイプは、体育館に求められる床の適度な硬さと軟らかさを取り入れている。耐荷重性能試験や転倒衝突時の硬さ試験を行い、使用時の安全性を証明。これにより文教施設でデッキ材での利用が増えた。また、性能を向上させた車両乗

り入れ可能な文教Playタイプストロング仕様も開発されている。

2019年には、文教施設やオリンピック施設、大型商業施設で同デッキシステム

の採用が増加。長期使用を想定して、性能が劣化しないように各種試験を行った。同年4月には北海道立総合研究機構工業試験場で、K-1デッキ文教タイプ

の屋外での長期利用を想定し、天然木デッキ、人工木デッキでの設置試験体で500時間、21日間の塩水噴霧試験を実施。K-1

デッキは、万協フロアーの支持脚、ZAM鋼製床下地と人工木、天然木で形成されている。これまで支持脚、ZAM鋼板、デッキ材、接着剤については各部材メーカーで塩水噴霧試験が行われてきたが、組み合わせや加工された試験体

で、より現場の状況に近い試験結果を得るために行われた。その結果、人工木仕様では目視確認の結果、白錆とわずかな赤錆の発生が認められた